



湖南中央消防署庁舎の 現状と課題について



会派 チーム湖南 ● 加藤 貞一郎 議員

問 昭和55年に建設された湖南中央消防署庁舎は、耐震不足や女子職員を配置する環境が未整備であり、また車庫の狭さや日々の訓練等に必要な敷地面積が確保できていない状況を踏まえ、この庁舎の建て替えの必要性についてお尋ねします。

答 早急に施設整備に向けた取り組みを進めたいと考えています。

問 湖南市における過去3年間の火災発生件数は、47件で野洲川を挟んで南北それぞれ同数となっています。そうした中、特に下田・団地や岩根地域で火災が発生した場合や緊急要請があった場合など、現在の湖南中央消防署から野洲川を渡り火災現場までかなりの時間を要します。また大規模な災害発生により南北をつなぐ橋が崩壊した時など北

側の災害救助活動は、困難な状況になります。そのような状況を踏まえ、湖南市の南側に位置する2つの消防施設の消防機能の守備範囲の均等化を図るため施設の建て替えと同時に現在の湖南中央消防署を野洲川の北側に移転することを提案しますが、いかがですか。

答 湖南中央消防署を北側に移転することにより北東部への緊急時における現場到着時間の短縮や火災や救急出動などの事案に対して迅速な対応が可能となります。

問 消防署の立地条件や必要な敷地面積を確保できる候補地のひとつとして岩根地先の農振地域を推奨しますが、どう思われますか。

答 検討する対象の候補地になりうるかと考えています。



若い世代から自身の 健康意識を高めよう!



湖南市公明党議員団 ● 細川 ゆかり 議員

性と健康の相談支援について

問 プレコンセプションケアについて(女性やカップルを対象として将来の妊娠のための健康管理を促す取り組み)

答 小中学校で実施している喫煙防止教室や中学校で実施する保育学習の機会を捉えて、たばこや過度なダイエット等が妊娠にもたらす影響などについて伝えていきます。

問 不妊治療について

答 不妊治療の相談窓口は、滋賀医科大学附属病院に滋賀県不妊専門相談センターが設置されています。市では「こころとからだの健康相談」で対応しています。

問 流産・死産等子どもを亡くした家族への支援について

答 届出を行う必要がないため把握ができません。

通院されている病院で行っている現状です。

オーラルフレイル対策について

問 口腔の健康に関する普及啓発について

答 出前健康講座のメニューに口腔の健康に関することを取り入れ、啓発を行い、令和2年度からは保険事業と介護予防の一体的実施の事業として「お口のお手入れ100日チャレンジ」を実施しています。

問 高齢者に対する歯科検診について

答 健康の保持増進健康意識の向上を目的として、76歳と81歳に後期高齢者歯科健康診査を平成29年度から実施しています。

※その他子宮頸がんワクチン接種や「リトルベビーハンドブック」と子育て支援型「自動販売機」の導入について質問しました。